



第141号

発行  
押野公民館  
TEL247-0856  
印刷  
明光印刷  
(有)



押野公民館ホームページ

令和4年度 公民館年間活動テーマ  
「集い、学び、笑顔」  
あふれる公民館活動

### 館長退任のご挨拶

鷹合 勉



三月末日をもって館長を退任させていただきました。館長として八年、副館長として三年、地域の皆さまには大変お世話になりました。浅学非才な私を盛り立ててくれた公民館役員にはとりわけ感謝申し上げます。一年間は、忘れがたい、貴重なボランティア経験の連続であり、また、楽しそうに活動する皆さんの笑顔に励まされた日々でもありました。

ナ禍だから安易に行事を中止しようと結論付けることは避けたい。どう変更すればできるのか。できないならば、代わりに何をどうすればいいのかを常に問い続ける姿勢が大切だと思います。令和二年度から取り組んだ文化祭に代わる小作品展や川柳・写真コンクール、令和三年度に取り組んだポッチャ体験会がその好例ではないでしょうか。コロナ禍に加え公民館活動も変革期を迎え、問題が山積している中で身を引くのは誠に心苦しいのですが、押野公民館がいつその発展を遂げるよう心からお祈り申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。

### 館長就任のご挨拶

今寺 幸雄



このたびは八年間館長として尽力された鷹合勉氏が退任されるにあたり、地区運営審議会からの推薦を受けて館長を拝命しました。今寺幸雄です。

さて、未だに終息の兆しがみえず世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスによって私たちを取り巻く生活環境は、激変いたしました。公民館活動も例外ではなく、合や行事などが変更・中止・延期等を余儀なくされ、感染防止対策を徹底しながらの日々が続いています。

さて、公民館に求められるのは、公民館が媒体となり、知り合い・ふれあい・学びあい・支えあう場と機会を創り出す事であろうと思います。そのお手伝いが出来るように、役員一同努力してまいります。

そのためにも、感染防止対策を徹底して行い、安心感を持って参加して頂けるように心掛けます。役員は地域の一住民です。事業の企画立案にあたっては、皆さんと同じ目線・気持ちになっただけで安心して頂けるにはどうあるべきかを第一に考えて参ります。

昨今、あらゆるモノが進化したにつけています。皆様にとつて敷居の低い公民館活動であるために、従来の考えや取り組みに固執するのではなく、何を守り(継承)何を変えていくべきなのか、変化を恐れず躊躇(ためら)わずに、取り組んで参りたいと思います。

至らぬ点が多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。挨拶と致します。



### 公民館役職員

(退任・異動・新任)

#### 《退任》

公民館館長

鷹合 勉

スポーツ推進委員

中野谷 由美子

#### 《異動》

公民館館長

今寺 幸雄  
(前公民館副館長)

総務副部長

松岡 正剛  
(前体育レクリエーション副部長)

#### 《新任》

青少年健全育成部長

山本 進也

スポーツ推進委員

濱 千亜希



令和4年度公民館役職員  
よろしくお願ひします